

稚内、釧路、函館、帯広、女満別各空港の空港運営事業開始について

北海道エアポート株式会社

北海道エアポート株式会社は2021年3月1日から、稚内、釧路、函館、帯広、女満別各空港の空港運営事業（運航情報、保安防災、施設管理、灯火電気など）を開始いたしました。

当社では2020年7月以降、管理者の国土交通省、帯広市、北海道から座学訓練、実技訓練、現場OJTなど約8カ月間にわたり空港運営事業の引き継ぎを受けてまいりました。

今後、空港運営業務は当社の各空港事業所が担い、引き続き各管理者によるご指導を頂きながら、安全・安心を第一とした空港運営に向け、全社一丸となって着実に取り組んでまいります。

7空港の上下一体運営に当たっては、安定した事業実施体制を確立し、安全・安心かつ効率的な空港運営とともに、空港施設の利便性・安全性の向上に向けた施策を推進いたします。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底し、地域との緊密な連携の下、航空・観光需要の回復に向けた取り組みを進めてまいります。

【稚内空港事業所】

場 所：稚内空港内(国土交通省稚内空港事務所 庁舎内)

事業所長：田所 昌弘(稚内空港ビル株式会社代表取締役社長)

人員体制：14人体制



稚内空港

【釧路空港事業所】

場 所：釧路空港内(国土交通省釧路空港事務所 庁舎内)

事業所長：袴田 慶一(釧路空港ビル株式会社専務取締役)

人員体制：21人体制



釧路空港

【函館空港事業所】

場 所：函館空港内(国土交通省函館空港事務所 庁舎内)

事業所長：八島 聡(函館空港ビルディング株式会社専務取締役)

人員体制：22人体制



函館空港

【帯広空港事業所】

場 所：帯広空港内(旧帯広市空港事務所)

事業所長：美土路 純一(帯広空港ターミナルビル株式会社専務取締役)

人員体制：18人体制



帯広空港

【女満別空港事業所】

場 所：女満別空港内(旧北海道女満別空港管理事務所)

事業所長：小川 武利(女満別空港ビル株式会社専務取締役)

人員体制：18人体制



女満別空港

【これまでの経緯と今後のスケジュール】

2019年 8月23日 会社設立
10月31日 管理者(国、旭川市、帯広市、北海道)と実施契約締結

2020年 1月15日 7空港のターミナルビル会社等の運営を開始
6月 1日 新千歳空港の空港運営事業を開始
10月 1日 旭川空港の空港運営事業を開始
2021年 3月 1日 稚内、釧路、函館、帯広、女満別の5空港の空港運営事業を開始

詳細については弊社ホームページをご覧ください。

https://www.hokkaido-airports.co.jp/uploads/2021/02/WakkanaiKushiroHakodateObihiroMemansetsu-airports_start%EF%BC%88web-ver.%EF%BC%89.pdf

流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が就航開始しました

紋別市 建設部 港湾課

令和3年1月9日(土)、冬のオホーツク観光を代表する流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が新たに運航を開始しました。全長約45メートル、総重量366トン、旅客定員235人、最大速力は時速30キロに達し、船首に搭載された2基のスクリューで流水を割りながら航行します。

IMERU(イメル)とはアイヌ語で「光」を意味し、全国186件の応募の中から、選考委員による協議のもと名付けられたものです。約四半世紀ぶりに新造されたこの船に、紋別の新しい「希望の光」となってもらいたいとの願いを託しました。

ガリンコ号Ⅲ IMERUは先代のガリンコ号Ⅱに比べて、定員数・座席数も増加し、スペースにゆとりあるデザインとなっているほか、2階はバリアフリー対応

となっており、幅広い方々に対して利用しやすい船内となっています。また、船の速度も向上していることから、より流水が身近になりました。

現在、ガリンコ号Ⅱとガリンコ号Ⅲ IMERUの2隻体制で運航しておりますが、新型コロナウイルス感染対策として、それぞれ乗客定員を減らしてご案内しております。

また、ガリンコ号Ⅲ IMERUの就航に合わせて、乗り場である海洋交流館には、紋別市内の飲食店が出店するフードコートがオープンしました。ガリンコ号の流水体験と共に、紋別のグルメをお楽しみください。

ガリンコ号Ⅲ IMERUが紋別市にとって、そして広域観光にとっての先導船、さらには、「観光の産業化」の推進役となるよう、皆様の乗船をお待ちしております。



ガリンコ号Ⅲ IMERU